

8月 モニターレポート		担当出張所	高槻出張所
担当区間	檜尾川合流点～大阪府京都府境界(阪急大山崎駅付近)(右岸28.2～35.4km)		
モニター実施日時	令和2年8月3日(月) 18時30分～19時30分 令和2年8月7日(金) 17時30分～19時00分		
天候	晴れ時々曇り / 晴れ		
(見出し)			
<p>今月は、水無瀬川から鶴殿のヨシ原についてモニターしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑草の現状及び除草の要望 ・野犬について ・石標の意味 ・自然の素晴らしさ 			
<p>今日は水無瀬川から鶴殿のヨシ原までを散策した。</p> <p>7月に除草されていた所とされていない所が、たまたまなのか高槻市と島本町の境目で驚いた。島本町の方は、堤防沿いに大きなマンションや団地、住宅があり、たくさんの人が夕涼みがてら散歩やカメラを持って散策等されていた。残念なことに、写真のように雑草が生い茂り、公園や広場があるにもかかわらず利用されていなかった。蝉の声も聞こえ、網や虫かごを持つ親子連れを見かけたが、背の高い雑草が邪魔をし、広場に入ること出れずにいた。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			
<p>この辺りは住宅が側にあるためか、下の写真のような『野犬に注意してください』の看板が2か所あった。以前野犬がいたことは知っていたが、今も野犬はいるのでしょうか。野犬がいるなら、夕方や夜の散歩は止めようかと話している人もいた。新型コロナウイルス感染の自粛に伴い淀川を散策される方が増え、夏場の今は夕方や夜のはじめ頃に散歩をされている人が多くいる。野犬のことを気にしている人もいるので、現状を知る方法があればいいなあと感じた。</p>			



道々、下の写真のような石標を目にした。新しい物、草に隠れそうになっている物、壊れかけている物などあり、どんな意味があるのかと。新しいものは河口から34.0kmと刻まれていたが、他の物は読めず、同じ趣旨の物が分からない。分からないからか、何なのか気になる。



「高浜量水標」と刻まれた石碑があり、傍には写真の建物があつた。今も使われているのか、これは何のためにあるのか気になり、調べてみた。「量水標とは、河川の岸にあり水位を測る設備。垂直に立てた支柱に目盛りが振られており、これを目視で読み取る。」とあり、以前は山崎出張所があつて目視も可能であつたが、閉鎖された今はどうなるのか、と思った。



8/3満月の夕暮れ時、ツバメが鶺鴒のヨシ原に戻って大群を出くわせた。空が真っ黒になるかと思うくらいの

大群が一挙にヨシ原に舞い戻って来た。急いでシャッターを切った。これは、「河川敷のヨシ原などで集団で夜を過ごすツバメの【ねぐら入り】と呼ばれる行動で、夏の夕暮れにしか見られない壮大なショー」と。ツバメは夏鳥で秋には南に渡ってしまうので、あと少しだけこの光景が見られる。この壮大なショーをまた見に、鶴殿のヨシ原に行きたい。

淀川の河川敷にはツバメだけではなくスズメも集団で生活している。写真は、スズメが驚いて飛び立つ瞬間だ。いろんな生き物が生息している淀川は壮大だと改めて実感した。



(意見・感想・処置等)

猛暑日が続く中でのモニターレポートありがとうございます。

この時期の雑草は、もの凄いスピードで伸びますよね。公園利用者や散歩される方々に、ご不便をおかけしますが、9月から順次2回目の除草作業を実施いたしますので、今しばらくお待ちください。

野犬に関しては、巡回パトロールでも確認しております。野犬を発見した場合、大阪府動物愛護管理センター、島本町役場環境課、高槻市保健所保健衛生課へ情報提供を行い、高槻市保健所による野犬捕獲を行っております。また淀川河川事務所の野犬に関する情報としては、桂川運動公園付近での目撃情報が多く寄せられていることです。もしかすると桂川から下流の方へ野犬が移動しているのかもしれませんがね。モニターの際には気をつけてください。

河川距離標は、国土交通省の管理する河川において、川の調査や維持管理を行うため、目印に左右岸の堤防に河口を起点として、200m間隔で設置しています。河口から34.0kmと刻まれている石標は淀川河口部から34kmの位置を示しております。

劣化した石標は年月と共に風化している感じですね。確かに距離標が分かりづらいです。この石標の中心には金

属の鉾があり、標高を測量するのに使います。この金属の鉾が完全に破損して折れている場合は、復旧作業を行います。ご報告ありがとうございました。

高浜量水標は、川が氾濫し増水した時などに目視で水位を確認するものであり、常日頃測っているわけではありません。現在は高槻出張所管内の量水標として残っております。日常的な観測は、水位観測所の水位計で自動計測しており、淀川河川事務所のHPで水位情報を確認することもできますので一度ご覧になってください。

ツバメの大群は写真で見ても凄いですが、実際に見たらもっと迫力があるのですね。淀川に限らず自然に暮らす動物の行動には驚きや感動があり、見ていて飽きないですね。

では来月のモニターも宜しくお願いします。